

Ogawa M, <u>Morita T</u> , et al	Uncommon underlying etiologies of reversible delirium in terminally ill cancer patients.	J Pain Symptom Manage	32	205-207	2006
<u>Morita T</u> , et al	Self-reported practice, confidence, and knowledge about palliative care of nurses in a Japanese regional cancer center: Longitudinal study after 1-year activity of palliative care team.	Am J Hosp Palliat Care	23	385-91	2006
Murata H, <u>Morita T</u>	Conceptualization of psycho-existential suffering by the Japanese task force: The first step of a nationwide project.	Palliat Support Care	4	279-285	2006
Fujita A, <u>Akechi T</u> , et al	Memory, attention, and executive functions before and after sine and pulse wave electroconvulsive therapies for treatment-resistant major depression.	J Ect	22	107-112	2006
Sato D, <u>Okamura H</u> , et al	Reliability and validity of the Japanese-language version of the Physical Performance Test (PPT) Battery in chronic pain patients.	Disabil Rehabil	28	397-405	2006
Inoue M, <u>Okamura H</u> , et al	Psychological impact of verbal abuse and violence by patients on nurses working in psychiatric departments.	Psychiat Clin Neurosci	60	29-36	2006
Ueno K, <u>Okamura H</u> , et al	Factors associated with the self-efficacy of terminally ill cancer patients: focusing on nurses' response.	J Hospice Palliat Nurs	8	147-154	2006

雑誌（日本語）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
秋月伸哉, 明智龍男, 内富庸介, 他	がん患者のうつ病; 薬物療法	Depression Frontier	2	21-25	2004
秋月伸哉, 明智龍男, 内富庸介, 他	がん患者の精神症状とその対応	日本病院薬剤師 会雑誌	40	521-523	2004
秋月伸哉, 明智龍男, 内富庸介, 他	海外におけるサイコオンコロジー の現状	臨床精神医学	33	489-493	2004
明智龍男, 内富庸介, 他	がん患者の自殺・希死念慮へのアプ ローチ	臨床精神医学	33	681-691	2004
明智龍男, 森田達也, 内富庸介	進行・終末期がん患者に対する精神 療法	精神神経学雑誌	106	123-137	2004
明智龍男, 内富庸介, 他	緩和医療における精神症状への対 応	臨床消化器内科	19	59-66	2004
明智龍男, 内富庸介, 他	サイコオンコロジーの科学的基盤; 精神症状の緩和を目指して	精神神経学雑誌	106	764-771	2004
明智龍男, 内富庸介, 他	がん患者のための包括的支援プロ グラムの開発	心身医学	44	503-508	2004
小早川誠, 内富庸介, 他	がん患者の心身ケア	からだの科学	238	104-107	2004
松岡豊, 内富庸介, 他	神経画像を用いたサイコオンコロ ジーの展望	最新精神医学	9	445-449	2004
清水研, 内富庸介, 他	緩和ケアチームの現状と将来	総合臨床	53	2776-2779	2004
清水研, 内富庸介, 他	癌による症状への対策; 精神症状へ の対策	コンセンサス癌 治療	3	193-197	2004
中野智仁, 明智龍男, 内富庸介	緩和ケアチームの現状と将来	精神神経学雑誌	106	776-781	2004
藤森麻衣子, 明智龍 男, 内富庸介	がん医療におけるコミュニケーシ ョンスキルトレーニング法	臨床精神医学	33	533-557	2004
内富庸介	特集「がん患者のうつ病」にあたっ て	Depression Frontier	2	7	2004
内富庸介	日本における緩和ケアチームの今 後の方向性; 精神科医の立場から	ターミナルケア	14	245-247	2004

内富庸介	サイコオンコロジーと緩和医学の現状と将来; シンポジウムによせて	精神神経学雑誌	106	762-763	2004
吉川栄省, 明智龍男, 内富庸介, 他	リエゾン精神医療におけるうつ病; サイコオンコロジー	Clinical Neuroscience	22	173-175	2004
下山直人, 他	がんのInformed Consentの最近の変化	癌と化学療法	32	152-155	2005
市田智彦, 下山直人	WHOラダー第2段階としての役割	緩和医療学	7	32-38	2005
下山直人, 他	緩和医療の現状と今後の展望	日本呼吸管理学会誌	14	218-222	2004
下山直人	学際領域の診療緩和医療	日本産科婦人科学会雑誌	56	414-419	2004
下山直人	緒言にかえて; 日本における緩和ケアチームの現状と今後の方向性	がん患者と対症療法	15	6-11	2004
下山直人, 他	婦人科がん進行例の緩和医療	日本臨床	62	627-631	2004
下山直人, 他	がん性疼痛治療の現状と今後の展望	今月の治療	12	45-48	2004
高橋秀徳, 下山直人	小児のがん性疼痛	今月の治療	12	82-84	2004
下山直人, 他	痛みの治療; 薬物療法について	小児看護	27	832-839	2004
下山直人, 他	癌性疼痛	Molecular Medicine	41	736-740	2004
下山直人, 他	がん疼痛治療の今後	J Jpn Soc Hosp Pharmacists	40	525-526	2004
下山直人	緩和ケア医の立場から	ターミナルケア	14	247-249	2004
高橋秀徳, 下山直人	鎮痛補助薬の適応と使用方法	看護技術	50	32-36	2004
下山直人	鎮痛薬の特徴と使用法	東京都医師会雑誌	57	231-236	2004
下山直人, 他	がん疼痛治療の今後	日本病院薬剤師会雑誌	40	525-526	2004
下山直人, 他	鎮痛補助薬の使い方	臨床麻酔	28	555-563	2004
森田達也	終末がん患者への輸液療法; 現状と課題 医師の考え方と態度に関する全国調査から	緩和医療学	4	99-106	2004

森田達也	終末がん患者に対する輸液療法	現代医療	36	1287-1293	2004
森田達也	苦痛緩和のための鎮静	癌治療と宿主	7	253-263	2004
森田達也	終末がん患者に対する輸液療法; 身体症状への影響	緩和医学	4	130-139	2004
森田達也	緩和医学からサイコオンコロジーへの期待; 緩和医学における未解決の精神医学的問題; モルヒネによるせん妄と治療抵抗性の精神的苦痛の緩和	精神神経学雑誌	106	782-785	2004
森田達也	苦痛緩和のための鎮静	癌治療と宿主	16	253-263	2004
森田達也	がん患者の精神的苦痛	臨床精神学	33	559-565	2004
森田達也, 他	進行・緩和ケア; 霊的・実存的苦痛に対するケア	精神科治療学	19	267-274	2004
森田達也, 他	緩和ケア病棟のある総合病院における緩和ケアチームの活動	がん患者と対症療法	15	267-274	2004
明智龍男	進行・終末期がん患者の精神症状	分子精神医学	4	102	2004
明智龍男	サイコオンコロジー	現代医療	36	129-133	2004
明智龍男	緩和ケアチームにおける精神科医の役割	がん患者と対症療法	15	18-22	2004
小原泉, 明智龍男, 他	抗悪性腫瘍薬第I相試験に参加する患者に対する心のケアとCRCの役割	血液・腫瘍科	48	539-543	2004
石川陽子, 岡村仁	入院統合失調者における集団の作業療法に対する認識とその関連要因に関する研究	精神科治療学	19	347-355	2004
石橋照子, 岡村仁, 他	精神疾患患者の悪性腫瘍に気づくための観察ポイント	島根県立看護短期大学紀要	10	27-34	2004
岡村仁, 他	癌に伴う精神症状への対処 心理・社会的リハビリテーション	癌治療と宿主	16	65-70	2004
岡村仁	サイコオンコロジーの現状と展望 VIII. トピックス がんの遺伝カウンセリング	臨床精神医学	33	693-697	2004
嶋本正弥, 内富庸介, 他	がんとうつ	心療内科	9	391-395	2005
嶋本正弥, 内富庸介, 他	癌の進行に伴う精神症状; 診断と治療	癌の臨床	51	205-211	2005

嶋本正弥, 内富庸介, 他	向精神薬の使い方	心療内科	9	101-106	2005
中谷直樹, 内富庸介, 他	がんと疫学	心療内科	9	95-100	2005
森田達也, 明智龍男, 内富庸介, 他	緩和ケアについての改善点と不満 足な点; 遺族からの示唆	緩和ケア	15	251-258	2005
下山直人, 他	麻酔科医がペインクリニシャン、そ して緩和ケア医となって	日本臨床麻酔学 会誌	26	18-24	2005
村上敏史, 下山直人	がん治療における緩和ケアチーム の役割	癌の臨床	51	781-786	2005
下山直人, 他	オピオイドスイッチングにおける オキシコドン徐放錠の役割	がん患者と対症 療法	16	33-38	2005
下山直人	自分に影響を与えた痛みのエピソード	がん患者と対症 療法	16	69-74	2005
下山直人	骨転移治療の新たな展開 序	緩和医療学	7	349-350	2005
村上敏史, 下山直人	坐薬、口腔粘膜吸収薬、吸入薬; そ の他、最近の開発薬	Drug Delivery System	20	538-542	2005
高橋秀徳, 下山直人	緩和医療	モダンフィジシ ヤン	25	1289-1295	2005
下山直人, 他	モルヒネは現在でもがん性疼痛治 療におけるスタンダードである	日本臨床麻酔学 会誌	25	526-532	2005
下山恵美, 下山直人	がん性疼痛のメカニズム	呼吸器科	7	159-164	2005
下山直人, 他	神経因性 (障害性) 疼痛治療法; 基 礎と臨床	癌の臨床	51	153-157	2005
下山直人, 他	疼痛コントロール	治療	87	1571-1574	2005
武田文和, 下山直人	がん疼痛緩和対策のアドバイス	がん患者と対症 療法	16	69-71	2005
村上敏史, 下山直人	突出痛とレスキュードーズ	薬局別冊	56	17-24	2005
下山直人, 他	がんのInformed Consentの最近の変 化	癌と化学療法	32	152-155	2005

市田智彦, 下山直人	WHOラダー第2段階としての役割	緩和医療学	7	32-38	2005
安達勇, 森田達也	終末期における輸液療法	癌の臨床	51	189-195	2005
森田達也	苦痛緩和のための鎮静	癌の臨床	51	197-204	2005
明智龍男, 他	症状緩和のための治療とケア; 希死念慮	緩和医療学	7	256-266	2005
明智龍男, 他	周術期の精神症状; とくにせん妄について	ICUとCCU	29	419-424	2005
明智龍男	サイコオンコロジー (精神腫瘍学)	PROGRESS IN MEDICINE	25	2121-2126	2005
明智龍男, 他	希死念慮を有するがん患者の治療およびケア	総合病院精神医学	17	241-252	2005
明智龍男	サイコオンコロジー	現代医学	53	59-65	2005
加藤知可子, 岡村 仁, 他	統合失調症者の家族の情報への満足度と心理的負担との関連	臨床精神医学	34	365-371	2005
篠原純子, 岡村 仁, 他	脳梗塞患者の入院時における自尊感情と日常生活動作の関連	広島大学保健学ジャーナル	5	28-34	2005
岡村 仁	肺癌の緩和医療. サイコオンコロジー (精神腫瘍学) とは	日本胸部臨床	49-55	65-70	2005
岡村 仁	リエゾン精神医学; がん患者の心のケア- がん患者への集団精神療法	緩和医療学	7	159-163	2005
村上好恵, 岡村 仁, 他	大腸癌のすべて: 遺伝性大腸癌; 遺伝カウンセリング	消化器外科	28	609-613	2005
岡村 仁	がんをとりまく諸問題; がん告知とインフォームド・コンセント	medicina	42	1897-1899	2005
岡村 仁	悪性腫瘍とリハビリテーション; 精神症状とリハビリテーション	Medical Rehabilitation	60	23-28	2005
梅澤志乃, 藤森麻衣子, 内富庸介	Bad news (悪い知らせ) が伝えられた患者のケア	がん看護	11	767-770	2006

藤森麻衣子、 <u>内富庸介</u>	がん医療におけるコミュニケーション; 自分らしくがんと上手に取り組むために	Journal of Integrated Medicine	16	302-307	2006
秋月伸哉、 <u>内富庸介</u> 他	成人病・生活習慣病とうつ病ー誤診と見逃しを避けるために 悪性腫瘍とうつ病	成人病と生活習慣病	36	268-272	2006
<u>下山直人</u>	許認可薬の適応外使用について	緩和ケア	16Suppl	294-296	2006
下山恵美、 <u>下山直人</u>	がん性神経障害性疼痛の基礎研究	ペインクリニック	27	959-964	2006
笠井慎也、 <u>下山直人</u> 、他	がん性疼痛患者におけるオピオイドの作用	副作用に関する遺伝子解析	27	965-973	2006
<u>下山直人</u> 、他	緩和ケアにおける麻酔科の役割	日本医師会雑誌	135	806-808	2006
高橋秀徳、 <u>下山直人</u> 、他	モルヒネ、フェンタニル、オキシコドンを使い分ける (オピオイドローテーション)	モダンフィジシャン	26	1210-1211	2006
<u>下山直人</u> 、他	緩和ケアにおける麻酔科の役割	日本医師会雑誌	135	806-811	2006
村上敏史、 <u>下山直人</u>	がん性疼痛における痛みのアセスメント	痛みと臨床	6	72-77	2006
高橋秀徳、 <u>下山直人</u> 、他	モルヒネの効かないがんの痛みをどうするか?	Modern Physician	26	1024	2006
越川貴史、 <u>下山直人</u>	在宅緩和ケアへの移行と疼痛管理について	癌と化学療法	33	611-615	2006
辻尚子、 <u>下山直人</u>	小児がんの痛みと治療の基本姿勢	がん患者と対症療法	17	6-10	2006
<u>森田達也</u>	遺族からみた緩和ケア病棟への紹介時期: 日本の実態調査	血液・腫瘍科	52	205-210	2006
難波美貴、 <u>森田達也</u>	終末期せん妄のケアー遺族へのインタビュー調査より得られたケアのあり方ー	緩和ケア	16	108-113	2006
安達勇、 <u>森田達也</u>	がん終末期患者への輸液ガイドライン作成に向けた調査研究	看護技術	52	50-54	2006
<u>森田達也</u>	終末期の輸液の考え方を教えてください、一般病棟でできる緩和ケアQ&A	総合医学社、ナーシングケアQ&A	11	144-145	2006
<u>森田達也</u>	鎮静とは何ですか? 一般病棟でできる緩和ケアQ&A	総合医学社、ナーシングケアQ&A	11	180-181	2006

森田達也	鎮静に使われる薬剤の使い方を教えてください、一般病棟でできる緩和ケアQ&A	総合医学社、ナーシングケアQ&A	11	184-185	2006
森田達也	QOLからみた終末期がん患者の水分管理	緩和医療学	8	354-362	2006
安達勇, 森田達也	終末期がん患者に対する輸液ガイドラインについて	緩和医療学	8	363-370	2006
森田達也	鎮静薬の基礎知識と使い方	緩和ケア	16(Supp 1)	96-99	2006
佐川竜一、明智龍男	せん妄の病態と患者や家族に与える苦痛	緩和ケア	16	103-107	2006
明智龍男	緩和ケアにおける終末期がん患者の希死念慮	緩和ケア	16	329-332	2006
明智龍男	がん患者が死を望む時	名古屋市立大学医学会雑誌	57	25-30	2006
明智龍男、内富庸介	がん患者の抑うつ症状緩和	医学のあゆみ	219	1017-1021	2006
岡本百合, 岡村 仁, 他	大学生はメンタルヘルスに関してどのようなイメージを持っているか? -医療系学生に対する検討-	総合保健科学	22	33-39	2006
安東由佳子, 岡村 仁, 他	神経難病患者をケアする看護師の仕事ストレスの明確化.	臨床看護	32	412-419	2006
石橋照子, 岡村 仁	精神疾患患者のイレウスの早期発見につながる観察方法.	日本看護研究学会雑誌	29	73-78	2006
新宮尚人, 岡村 仁, 他	統合失調症患者に対する作業療法における主観経験尺度の作成-OT治療要素経験尺度の信頼性・妥当性の検討-	リハビリテーション科学ジャーナル	1	41-50	2006
小早川誠, 岡村 仁	悪性腫瘍の遠隔効果 “Paraneoplastic syndrome”. 症状性(器質性)精神障害のガイドライン.	精神科治療学	21(増刊号)	112-113	2006